

- ★下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所
- ★むつ地区家畜衛生推進協議会

野生動物の侵入防止対策の再徹底をお願いします！

～9月の高病原性鳥インフルエンザに関する情報～

- 2021年～2022年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に係る第2回疫学調査チーム検討会をふまえた疫学調査報告書について

2021年～2022年の高病原性鳥インフルエンザの発生について、国から疫学調査報告書が農林水産省のウェブサイトに掲載されました。掲載先は下記のとおりになります。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html

- 9月23日（金）韓国の野鳥におけるH5亜型鳥インフルエンザウイルスの検出について（高病原性かどうかは未確定です）
- 9月26日（月）神奈川県伊勢原市で発見された死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルスの検出について（高病原性かどうかは未確定です）

昨シーズンの欧州、北米で発生が続いていることを踏まえると、今後、我が国へ飛来する渡り鳥が本病のウイルスを保有している可能性が高いことから、今シーズンにおいても厳重な警戒が必要です！

家きん飼養者の皆様におかれましては、引き続き裏面に記載している農場への鳥インフルエンザ侵入防止対策の再確認をお願いします。



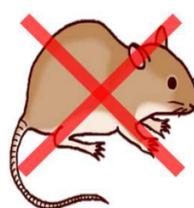
農場における侵入防止対策

➤ 消毒等の徹底

- ・ 農場、鶏舎に出入りする人の着替え、車両等の消毒や鶏舎入口の踏込消毒槽の設置を徹底しましょう。
- ・ 敷地内（鶏舎周辺等）に消石灰を散布しましょう。

➤ 野生動物の侵入防止

- ・ 防鳥ネットに破れがないか点検しましょう。
- ・ 防鳥ネットは2 cm以下のものを使用しましょう。
- ・ 畜舎周囲にエサ等の野生動物を誘うものを置かないようにしましょう。



➤ 関係者以外の農場への立入制限

- ・ 農場に出入する人の記録及び手指消毒を徹底しましょう。

* 下記のような症状がみられたら、速やかに家畜保健衛生所へ

- ・ 過去3週死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった
- ・ 5羽以上まとまって死亡していた
- ・ とさか・肉垂等の暗青色化、沈うつ、産卵率の低下など

飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに獣医師、または家畜保健衛生所にご連絡ください。

★むつ家畜保健衛生所

〒035-0072

むつ市金谷二丁目18-25

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810